

～春のセンターまつり 第2弾 小田原センター～ 3月16日(土)

【参加者】組合員 17名 未組 24名 計 41名

【加入】加入目標 5~10名 当日加入 6名 Web加入予定者 1名 計 7名



地域の方々に生活クラブを知ってもらい加入につなげるため、小田原センターでまつりを開催しました。和スイーツ、日東珈琲、ミサワ食品の3生産者から、それぞれの消費材の推しポイントを直接聞かせてもらいながらの試食。子どもたちによるフリーマーケット、配達トラックの乗車体験、アロマクラフト、寄木細工アクセサリーや手作りお菓子の販売など盛りだくさんでした。

多くの組合員とその友人など多くの参加があり、とても盛り上がりました。

報告 生活クラブでんきプレゼンテーション

ユニオン環境平和委員会主催 4月2日(火)

生活クラブでんき「はじめよう、私にできる脱炭素アクション」が開催されました。学習会では、エネルギーを取り巻く状況と生活クラブでんきの価値について学びました。各地域生協のブースではそれぞれが実践している活動やアイデアが紹介され、湘南は今年度作成したアンケートの紹介をしました。

なかなか直に見たり聞いたりする機会がないほかの地域の様子を知ることができ、お互いの活動につなげていけるきっかけをたくさんもらうことができました。

「でんき」は暮らしに欠かせないもの、もっと知り関心を持って行動する必要性をあらためて感じました。



【理事会報告】

第11回定例理事会 (4月11日)

- ・2024年度の監査方針・監査実施計画・監事会活動計画について
- ・湘南総代会開催 第4次討議

第3回臨時理事会 (4月30日)

- ・第21回通常総代会議案書第5次討議 <最終予算と総代会議案書の決定>

第12回定例理事会 (5月9日)

- ・2023年度監査報告
- ・第21回通常総代会議案書最終承認
- ・コモンズ・デポー大会の在り方PJ設置について

◀編集後記▶ 広報湘南、多くの皆さんに目に留めてもらえるか試行錯誤の日々です。この度、webでも見られるようになりました。生活クラブ神奈川のHPから湘南のページをチェックしてみてくださいね。(阿部)

報告 社会運動カンパ

合計金額 150,820円

水環境を守るせっけん運動と平和運動推進をひろげるために社会運動カンパを行いました。コモンズ・デポー大会では、組合員に社会運動についてアピールし、カンパ協力をよびかけました。集まった150,820円のカンパ金は、環境と平和について考えることを忘れずに活動を継続していくために、8月ヒロシマ平和集会、9月シャボン玉フォーラムへの組合員派遣に活用します。

お知らせ

◆再エネ・省エネフェア 湘南生活クラブ理事会主催 <日々の生活からエネルギーを考えよう！>

「風車・夢風のグリーンファンド秋田」、バーチャルツアーでおなじみの「飯館電力」、ソーラーシェアリングでブルーベリー栽培を行う「さがみこファーム」が湘南にやってきます！そして、「オルタスクエア」と「生活クラブエナジー」のエコな暮らしにつながるお話し、生活クラブでんきを使って消費材をつくる生産者の軽いランチにもなる試食コーナーもお楽しみに。

組合員はもちろん、組合員ではないお友だちもご参加可能です！おいしく、楽しく、生活に欠かせないエネルギーについて考えてみませんか？ぜひ会場に会いにきてください。

- ・日時：9月28日(土) 10時30分～14時30分
- ・場所：茅ヶ崎市コミュニティホール

◆鎌倉デポーリニューアル工事に伴う閉所について <どんな鎌倉デポーになるのかな？>

リニューアル基準を達成し、鎌倉デポーはリニューアル工事のためお休みします。閉所期間は組合員に会えなくて寂しいですが、オープニング企画があります。皆さん、生まれ変わった鎌倉デポーにぜひ遊びに来てください。

- ・7/6(土)～16時まで閉所
- ・7/7(日)～25日(木) 工事・閉所準備のため閉所

湘南

サステイナブルなひと、生活クラブ 2024.7月号

鎌倉C・逗葉・よこすか・藤沢北・湘南ふじさわ・茅ヶ崎・ひらつか・なかくん・城下町・はだの・足柄・ちがさき・らいふたん・鎌倉D・ひらつか西海岸

湘南生活クラブ生活協同組合 第21回通常総代会 5月31日(金)開催

2024年度の湘南生活クラブの活動がスタートしました。

2023年度はコロナ禍が明け本格的に活動を再開する年でしたが、2年に渡るロシアによるウクライナ侵攻の影響で、資材、エネルギー、飼料などの価格の高騰は収まらず、生産者への打撃と私たちの消費行動も変容しています。また、世界では紛争と地球温暖化による異常気象が続き住む場所を失くした人がおおぜいいます。能登半島を襲った巨大地震では誰の身にも起こり得る自然災害の恐ろしさと地域での日常的なつながりの大切さを実感し、自分にできることは何かを考える必要があります。

2024年度の湘南生活クラブの基本テーマは「生活クラブ運動をひろげ、安心して暮らせる地域をつくろう」です。これは私たちの永遠のテーマでもありゴールでもあります。安心して暮らせる地域とはどんな地域でしょうか。生きるために必要な水や食料、着る物や住む場所、これらが揃っていることに加え、地域に居場所や拠り所があり、困っている人は相談する人がいる、困っている人がいたら手を差し伸べることができる関係性がある、未来に希望を持って日々の生活を送ることができる、他にもまだまだあるかと思えます。誰もが安心して暮らせる社会につなげるために、2024年度も私

たちは地域に仲間を増やし、消費材の価値と予約して食べる意義を伝え、生活クラブでんきの利用と環境に配慮した暮らしをすすめ、たすけあいのしくみや関係性をひろげる活動を組合員に直接伝え共感をひろげ、おおぜいの参加ですすめていきます。

湘南では来年度に向けて藤沢市でのURの施設を活用した食の事業や地域の方々が集う居場所となるような拠点づくりを地域とともに進めていきます。10月からは、生活クラブまちづくり基金がスタートします。私たちのまわりで、地域の課題解決のために活動する団体や新たな事業にチャレンジするW.Coをみんなの100円で応援し、誰もが安心して暮らせるより良い地域を一緒につくっていきましょう！

理事長 上石 理恵



総代会会場

2024年度 基本方針

「生活クラブ運動をひろげ、安心して暮らせる地域をつくろう」

- ・活動への理解と共感をつくり、行動する人を増やします。
- ・国内自給率を高め自分たちの食を守るために仲間づくり活動をすすめ、食べる人を増やして消費材の利用を高めます。
- ・脱炭素社会の実現に向けて、環境に負荷をかけない暮らし方をめざします。
- ・生活クラブまちづくり基金について組合員の理解・共感をつくり参加を高め、地域づくりにつなげます。
- ・地域で多様なつながりから活動をひろげ、誰もが暮らしやすい地域をめざします。

組織報告	組合員数(4月末現在) 21,176人 (4月期首 21,176人) ●班 1,286人 ●個配 14,170人 ●デポー 5,535人 ●未組織 185人	 《Facebook》	 《Instagram》
	世帯当たり利用高(4月) 21,335円 (前年度同月比 100.3%) ●班 24,994円 ●個配 23,902円 ●デポー 14,193円		
発行	第182号 2024.7.8 湘南生活クラブ理事会	発行責任：上石 理恵	編集責任：中村 園子

2024 年度 活動方針

【組織活動】

◆仲間をつくってつなげる活動

・運営委員会の重点活動として、仲間をつくってつなげる活動に目標を持って取り組みます。運営委員会は仲間をつくってつなげる場を開催し、新規加入者フォローと仲間づくりの二つの活動を総合的にすすめ、多くの組合員とつながります。

◆生活クラブまちづくり基金への参加をひろげます。

・新たに設立される「生活クラブまちづくり基金」への理解と共感をひろげ参加につながる活動をコモンズ・デポーで目標を持ってすすめます。

【FEC】

◆F（食）利用結集

・重点品目は「米」と「牛乳」です。それぞれ目標を持ちセンター事務局やデポー W.Co と連携しながら利用結集活動を行います。

◆E（環境）生活クラブでんき

・組合員活動の重点活動として、各コモンズ・デポーで年間 50 人以上の新規組合員や生活クラブでんきの未契約者に会って生活クラブでんきの良さを伝え、契約につなげます。

◆C（たすけあい）生活クラブまちづくり基金

・「生活クラブまちづくり基金」への理解と共感する場面をつくり、湘南全体で組合員の 70%、C 推進会議では組合員の 10%の参加目標をもって活動をすすめます。

2023 年度 期末監査報告概要

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

- ・湘南生活クラブ生活協同組合定款及び監査規約に基づき、2023 年度の財産及び理事の職務の執行を監査しました。事業報告書、決算関係書類等は生協法に準拠しており、組合の財産及び損益の状況を適正に表示し、現金、帳簿類は正確です。剰余金処分案は法令、定款に適合していることを認めます。
- ・拡大は達成率が 38.2%、供給高は計画比 97.2%、脱退は予測を上回り大変厳しい状況ですが、事務局は目標にこだわって活動しました。また、組合員と事務局の努力により当期剰余金が出たことを評価します。
- ・組合員活動では、実参加での企画が開催できるようになり、直接会うことの大切さを実感しましたが、活動参加に向けての取り組みは難しくなっています。一人ひとりがそれぞれの立場で考え参加することで、活動が一層高まることを期待します。



2024 年度理事会メンバー

誰もが心豊かに暮らせる未来に向けて

2020 年の初めから続いたコロナ禍を経験したことで、以前とは大きく変わったことがいくつかあります。生活クラブにとって、人と会って、伝えて、仲間を増やしてきた大切な「会う」という行動が制限されたこと。さらに社会全体に目を向けると、人々の関係性が薄れてしまい、生きづらさ、暮らしにくさを感じている人が増えている。ということなのです。

「会う」という行動が制限されたことによって、コロナ禍に加入した組合員には、生活クラブ運動の大切さを未だ伝えきれずにいるため、知らないまま、関心が向かないままになっていると感じます。私たちが当然のように手にしている消費材は一朝一夕にできたものではなく、組合員と生産者が共に信頼しあい、一つひとつ作り上げてきた生活クラブオリジナルのもので、利用が減ってしまうと、知らない間にその消費材の取り組みはなくなることを知っていますか？再び手に入れようとしても簡単には手に入らないのだと気づいてください。これからも安心安全な消費材を手にするためには、仲間を増やしみんなで利用し続けることが大切です。

生活クラブの仕組みとして、地域のために活動している団体を支えるため、2003 年にスタートしたのが「福祉たすけあい基金」です。20 年を過ぎ、さらにコロナ禍を経験したことで、生きづらさや暮らしにくさを抱えた人が増えた今、子どもの食に安心を求めたり、誰もが心の拠り所となる居場所を提供したり、私たちを取り巻く環境問題などをテーマに活動している地域の人達とともに問題解決に取り組むことが必要になってきています。そのため、もっと緩やかに地域に密着した小さな活動に支援の手をのばせるよう、今年「福祉たすけあい基金」は「生活クラブまちづくり基金」になります。湘南のまちづくりに直接活かされ、誰もが「暮らしやすい」と思えたなら、それはやがては自分に、そして未来の子どもたちにも還ってくるのです。そのための価値ある毎月 100 円の取り組みをおおぜいの組合員に呼びかけ参加をひろげていきます。

湘南のまちの未来に思いを馳せた時、浮かんでくるのが「誰もが心豊かに暮らせるまち」だったなら、本当に素晴らしいことではないでしょうか。日々の暮らしの中で、おおぜいの組合員がさまざまな問題を自分事として捉え、食や環境、たすけあいの大切さを実感し仲間を増やすためには、積極的に企画や活動に参加し生活クラブの事をよく知ることが大切です。私たち一人ひとりは微力ですが、無力ではありません。組合員それぞれが一年に 1 人、仲間を増やせば消費材の利用も増え、生産者と組合員どちらもが安心できます。そして、自分たちの安心だけにとどまらず、一歩進めて地域に目を向け支援の輪をひろげることで、地域を丸ごと包み込む大きな力となるでしょう。素晴らしい未来のため、おおぜいの組合員で仲間を増やし、生活クラブ運動を地域にひろげていきましょう。



2023 年度 決算報告

1. 決算状況

- 1) 供給高は 56 億 5,683 万円（前年比 99.9% 計画比 97.2%）でした。
- 2) 供給剰余金は 15 億 3,484 万円（前年比 100.7% 計画比 97.9%）でした。
- 3) 機関紙剰余金とくらしサポート事業剰余金、その他事業収入を合算した事業総剰余金は 15 億 5,889 万円（前年比 100.9% 計画比 98.4%）となりました。その他事業収入は、経済共済加入業務委託料、個配システム手数料が主な項目です。

2. 事業経費

- 1) 事業経費合計は 15 億 5,067 万円（前年比 101.0% 計画比 97.9%）で予算内の執行状況です。主な内訳としては、人件費が 2 億 4,985 万円（前年比 95.4% 計画比 97.4%）でした。委託費は 9 億 6,194 万円（前年比 102.2% 計画比 97.7%）でした。委託費には消費材開発・物流・システム管理を行っている生活クラブ連合会や資産管理・デポー事業管理などをおこなっている神奈川ユニオンへの委託料、ワーカーズへの業務委託料などが含まれます。物件費は 3 億 3,887 万円（前年比 101.9% 計画比 98.9%）と、前年を上回りましたが計画した予算内の執行です。

3. 剰余金処分

税引き前当期剰余金は 1,278 万円となり法人税、住民税及び事業税を差し引くと、当期剰余金は 838 万 8 千円でした。前期未処分剰余金 8,824 万 8 千円を加えて当期末未処分剰余金は 9,663 万 7 千円となりました。この 9,663 万 7 千円に関しては、生協法に基づき 90 万円を法定準備金とします。9,573 万 7 千円を次期繰越金とすることを決定しました。

損益計算書		
科目	金額(千円)	前年比(%)
供給高	5,656,837	99.9
供給総剰余金	1,534,849	100.7
事業総剰余金	1,558,896	100.9
人件費	249,854	95.4
委託費	961,941	102.2
物件費	338,877	101.9
事業剰余金	8,223	88.4
税引前当期剰余金	12,780	89.8
当期首繰越剰余金	88,248	111.8
当期末未処分剰余金	96,637	108.2

損益計算書は、2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの事業年度内の収支を表したものです。

総代会での主な質疑応答

第 2 号議案 2023 年度事業報告書及び決算関係書類の承認 2023 年度監査報告

- <質問> 損益計算書にて機関紙事業とくらしサポート事業とあるが、機関紙事業とは具体的に何か。くらしサポート事業は神奈川全体でなく地域生協で決算を出している理由が知りたい。
- <回答> 機関紙事業とは皆さんが購読している「生活と自治」を指しています。くらしサポート事業については、労働者協同組合くらしサポート W.Co Lavori に家事代行サービスを委託しています。生活クラブ神奈川、湘南生活クラブ、Lavori と一緒に地域生協ごとで事業を行っています。

第 3 号議案 2024 年度活動方針及び事業計画の決定

- <質問> コモンズ・デポー大会成立基準について、プロジェクトを立上げてそこで検討していくと聞きました。プロジェクトについて説明して下さい。
- <回答> コモンズ・デポー大会開催の“あり方”については、時代が変わり働く女性が増え、活動に参加する人が減っていることや、大会に参加したくても参加できない人がいる事実も踏まえ、2023 年度から継続している運営委員長を中心にプロジェクトを立上げ、2024 年度はどういった“あり方”で大会を開催すべきかということをおおぜい早い時期から話し合い、それを一度コモンズ・デポーに持ち帰って、コモンズ・デポー組織リーダー会議で一致して進めていきたいと思っております。